

平成27年度

猿払村教育行政執行方針

猿払村教育委員会

◎ はじめに

激動の時代潮流は、多様な成果や課題を生み社会生活への影響も大きなものとなっています。これからの時代で個性や能力を伸ばし豊かに生きるには、時代の恩恵を享受する多様な能力や資質を身に付けることが大切であり、その基盤の充実は私たち教育に携わる者にとって最も大きな責務の一つであります。

去年は、エボラ出血熱の知識不足による感染拡大、マララさんのノーベル平和賞受賞など、教育が人生の恵みであり欠かせないものだとアピールされた年でありました。

猿払の去年の教育を振り返ってみますと、各学校では教師力向上のための研修の充実、特色ある教育活動の進展や落ち着きのある授業づくりが実感できた年であり、体力向上を進めた学校においては体力・運動能力選手権で全道上位に入賞するなど、子どもの個性を伸ばす教育が進められました。社会教育では大学生による長期休業中の学習機会提供や土曜日のテレビ塾の試行、また北海道科学大学との連携事業も実施し、学びたいときに学べる環境構築を目指し進めてまいりました。

しかし、うまく交われない苦しさや悩みを抱えている子どもがいたり、肯定感や有用感を持たずにいる子どもがいることも否めません。

平成 27 年度は、豊かな心とたくましく生きる力を育み、生涯にわたって自らの夢や希望の実現に向け粘り強く学び行動する人づくり環境づくりを目指して教育行政を進めてまいります。教育課題の改善や今年度から始まる総合教育会議が機能するよう、学校教育と社会教育の視点から全面的な教育行政の総括を行い、平成 28 年度からスタートする村の総合計画とリンクした猿払村教育推進計画を作成し、グローバル化や科学技術の進展に対応する教育と万古不易の教育課題である人間教育の両面を柱に、重点施策を明確にした教育行政を進めていく所存です。

<重点項目>

- 1, 猿払村の教育全般にかかる評価と教育大綱(ビジョン)の作成
- 2, 総合教育会議の設置に向けた整備と運営
- 3, 猿払村教育推進計画(平成 28~32 年度)作成のための組織設立と策定

1, 猿払らしい教育の充実

「猿払の風土で生まれ、厳しさに打ち克つ心豊かな子どもの育成」という猿払村の学校教育目標の達成を目指し、猿払村教育研究会や猿払村教育連携教育推進会議を核として中学を卒業するまでの15年間という縦のつながりと地域保護者といった横のつながりを紡ぎ、学びの一貫性がある丁寧な接続に留意して教育行政を進めて参りました。

昨年の全国学力・学習状況調査の「学校が楽しい」「夢や希望がある」という項目で北海道は最下位となり耳目を引きましたが、猿払村は学校・保護者・地域の皆様の尽力により全国平均を上回る状況となっております。その良さを生かし「学びの一貫性と確かな接続」の具体的実践をつくりあげ、自主的に学び、挑戦する意欲と協働できる力を兼ね備えた子どもの育成をめざし、教育関係者が手を繋ぎ相乗効果を高められる教育連携の充実を目指します。

<重点項目>

- 1, 猿払村連携教育推進会議で作成した「猿払検定」(統一問題集)の活用促進と基礎学力の定着
- 2, 猿払版「家庭学習の手引き」による家庭と連携した主体的学びの育成と学習習慣の形成
- 3, 学習指導交流や校内研修の学校間の学びあい促進と実践の充実
- 4, 学校の見える化を目指すと共に子どもの成長にかかる情報の積極的な発信

2, 学ぶ意欲の高揚と学ぶ環境の充実

学校教育に求められる多様化・高度化の中で、子ども理解や生徒指導力、授業や学級づくりなど実践的指導力を身につけた教員が求められています。それら高める研修会への参加を支援するなど学びやすい環境整備を進めます。

学力の向上には、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」や「課題を解決する思考力等」、そして「学ぶ意欲」が大切な三大要素だといわれています。今年度は、子どもたちが学ぶ楽しさや喜びを感じ、さらに学ぶ意欲を高める学びを重点的に奨励し、子どもたちの将来への可能性を広げる教育活動の進展につなげます。

そのために、一人ひとりの子どもの特性を押さえた教育が展開できるよう児童生徒理解の深化を図り、学校全体で一人ひとりの子どもの成長を支援する体

制を更に充実できるよう支援します。また、人間は環境の動物といわれるように育つ環境に大きな影響を受けますことから、目標に合わせた教育環境について保護者と共通理解を深め、子どもたちが自信とグローバルな視野を持ち夢や希望に向かって挑戦しようとする基礎を築けるよう特色ある教育活動について積極的に支援してまいります。

<重点項目>

- 1, 教科書改訂に伴う指導方法を学べる指導書の整備
- 2, 研修を基盤に教師力向上を図る猿払村教育研究会等への助成
- 3, N R T 検査による客観的理解と個に即した学びを定着させる学習支援
- 4, 読解力や活用力の向上をめざした授業づくりや特色ある教育活動への支援
- 5, 個に応じた相談体制の充実と望ましい学級集団づくりのデータとなる、楽しい学校生活をおくるためのアンケートの実施
- 6, 学習者の成果が実感できる学習意欲向上サポート事業(夏・冬)の継続
- 7, テレビ塾(遠隔学習)の拡大と実用数学検定の実施
- 8, 全道へき地複式教育研究大会への支援と学校力向上に向けた支援
- 9, 特別支援教育の周知と体制の見直し

3, 豊かな心と健やかな体の育成

心の健やかな成長は、人と人との交わりの中で育まれます。学校・家庭・地域が連携し、道徳教育や人権教育、文化に親しむ環境づくりなどを進め、基本的な生活習慣の確立や主体的に生きる力の育成、豊かな心の醸成を目指します。

心身ともに健康な生活を送るためには、体力の向上や望ましい食習慣が大切な源であり、活力ある生活を営む基盤であります。猿払村の子どもたちは、全国と同等の体力を持っており握力などは高い傾向にありますが、50m走などに弱さをもっております。

村内各小中学校では特色ある内容で体力向上に取り組み成果を上げております。今後は、その成果を学びあい実態に即した教育活動の更なる展開に結びつけられるよう、特色ある教育活動を積極的に支援し心身の成長を図る教育活動の充実を図ります。

また、世界や日本各地の食のバリエーションを体感できる給食メニューを工夫し、食の多様性を知るとともに地元特産品の新たな活用や有用性を感じられる給食を提供してまいります。

<重点項目>

- 1, 体力・運動能力テスト等の結果分析と体力向上に向けた重点的取り組みと成長の実感ができる取り組みの交流
- 2, 体力づくりの実践交流と意欲向上のための各種ランキングへの参加促進
- 3, 地場産品の魅力再発見の取り組み(世界各地の名物料理の献立への取り込み)
- 4, 食物アレルギー対応マニュアルの研修と対策
- 5, 家庭や関係機関との連携による食生活などの基本的な生活習慣の形成
- 6, 安全に生きるための学習機会の奨励(ネット、薬物、性等)

4, 学校環境(学びの場)の整備

本村の学校施設は、20～33年ほど経過し暖房設備などの老朽化や雨漏りなど修繕を必要とする箇所が多くなってきております。子どもたちが安全で安心して学校生活を送ることができるよう学校施設の改修、維持管理を計画的に進めてまいります。

<重点項目>

- 1, トイレの洋式化と手すり取り付けの計画的整備
- 2, 迅速な緊急連絡のための放送設備の取り替え
- 3, 災害対策としての体育館の吊り天井材の撤去
- 4, 網戸設置増と害虫対策

◎ 夢や希望を叶える生涯学習の充実

猿払村の風土を愛し、魅力あふれる地域社会の創造をめざす」という本村の社会教育目標を基調として、多様な絆の中で自己を高め潤いと活力ある人を育むことをめざして事業を展開してまいりました。親子の絆や意欲を高める親子ふれあい事業の拡大や大学生による学習会や社会性を高める事業を開催し、参加者にとってプラスとなる学習機会の提供につながったと評価を受けました。

また、本村では、多様な文化・スポーツ団体の活動が高い水準をもって積極的な活動を続けており、全道・全国大会でも大変活躍されております。今後も各種団体の活動が継続・発展できるよう支援し、健康で個性をさらに伸ばすことができる生涯学習の展開をめざしてまいります。

社会教育推進計画が平成 27 年度をもって終了しますことから、村民のニーズを把握し地域課題に対応した学習機会を提供すると共に、その学びが生活や地域に還元できる仕組みを工夫するなど、新しい時代の要請に応える計画を策定し夢と希望を叶える生涯学習の推進を計画的に進めてまいります。

1, 夢のある社会教育推進計画の策定

科学技術の進展は便利さや容易さを生むだけでなく、新しい形のつながりや学びを提供しておりますが、数々の課題も生じています。今後は、安全でしかも有効に現代文明の良さを享受できるつながりや学びを提供していくことが重要となりますことから、現在の 5 カ年計画を振り返り、夢や希望を叶える猿払村社会教育推進計画を策定してまいります。

<重点項目>

- 1, 社会教育推進計画（平成 23～27 年度）の評価
- 2, 新社会教育推進計画策定に向けた意見聴取と策定のための組織づくり
- 3, 事業の改善を効率的に進める評価システムの取り入れ
- 4, 各種事業等の事前・事後の積極的な情報発信

2, 猿払の歴史から学ぶ資料館の整備

過去を知ることは未来を探ることだと言われます。猿払は奇跡的な歴史を持つ希有な場所であり、子どもたちの故郷に対する誇りも愛情も豊かな地域であります。猿払の歴史には多くの教訓が残されており、後世に伝えることはとて

も大切なことです。

そのために、村内外の方々の力を結集し、残された資料から有効に学べる資料の整理と展示の工夫して進めてまいります。

<重点項目>

- 1, 文化財保護委員の協力による現有資料の整理と確認
- 2, 専門的力量を持つ学芸員等と連携した展示物の選択や展示方法の検討
- 3, 猿払の産業の歴史が分かる展示の工夫や映像化の検討
- 4, 猿払村文化財読本改訂に向けた資料収集と整理

3, 活力を生む学習機会と文化・スポーツの振興

故郷への誇りとグローバルな視野を持ち主体的に行動する人をはぐくむには、ニーズに即した学習機会や上質な学びが重要です。村民の学習ニーズの把握に努めるだけでなく、現代的課題についても質の高い学習機会を関係部局との連携の中で提供し、活力ある人づくりを目指します。

また、文化・スポーツにおいても猿払から全道・全国大会に出場する団体が多くなり、高い目標に向かって質の高い研鑽が重ねられて多様な自己実現が図られております。今後もスポーツの基礎となる運動教室や地域の特色を生かした学習機会の提供など今までと趣の異なる内容を取り入れ、多様なニーズに対応してまいります。

<重点項目>

- 1, スポーツ環境の整備と少年団等への支援
- 2, 大人から子どもまでの体力向上を図る多様な運動教室の実施
- 3, 関連各課との連携と講座・教室等の質的向上
- 4, 文化活動の奨励と支援、表彰等の情報発信

4, 学ぶ喜びを体感する生涯学習の進展

これからの社会は、先人が経験したことのない課題に直面することも予想され、自ら考え選択していく力が必要になるため、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での基盤として飛躍的に重要性を増すとされています。そのため、どこでも学びたいときに学べるよう情報を活用する力が求められています。また、人と人とがふれ合い、心を通わせながら学んでいく学習形態も重要です。

今までの学習提供を振り返り、参加者が自ら選択する楽しさや喜びを体感しながら学ぶことができる生涯学習を進めます。

<重点項目>

- 1, 理数教育への興味関心高揚のための科学実験教室の継続
- 2, 課題解決に向けた学習機会の提供としての生涯学習講座の開催
- 3, 生き甲斐を持ち知恵を生かせる百寿大学の開催
- 4, 親子の交流機会を豊かにする親子ふれあい事業の推進

5, 読書活動の充実

読書は効率性の高い脳トレーニングであるという報告があり、アルツハイマーの予防やストレスの軽減にも効果があるといわれています。さらに、昔から言われているように多角的な思考が身につき自分と違う意見をも受け入れる度量が広がり、コミュニケーション力を高めます。

去年は、図書館活動の活性化や読書活動の推進を図るため、専門家を招聘し研修会を開催いたしました。講師から猿払村の図書室、学校図書室の展示について、読む刺激を与える素晴らしい展示であるとの賞賛を受けましたことから、今年度もポップの工夫や親子読書リレー等の取り組みを充実させ読書への興味が高まる環境づくりを進めます。

<重点項目>

- 1, 読み聞かせの会との連携と読書イベントの開催
- 2, どこでも本を手にすることができる「街中図書館」に向けた条件整備
- 3, 参加型の学習機会の提供と積極的な情報の発信

平成27年度の教育行政に関する方針と主要な施策について申し上げます。

活力ある未来を拓く源は夢や希望であり、夢や希望を生み出すエネルギーは語らいや忍耐だと言われます。今よりも高まろうというポジティブな意識と肯定的な雰囲気の中での交流が何より重要です。

教育委員会といたしましては、幸福感を高める人が一人でも増えることを目指し、己を向上させる学習機会提供や地域・村民の皆様の声を聴き語り合える学習機会の充実を図ってまいります。

前に進む意欲とあたたかな交流の風土醸成が、未来を担う子どもたちの健やかな成長に最適な環境となり、郷土に誇りと愛情を持つ心豊かでたくましい人を育む村づくりの糧となるよう、学校・保護者・地域の協働体制のもと地域の活性化と発展につながる生涯学習社会の構築に向け取り組んでまいります。

議員並びに村民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げ、教育行政執行方針といたします。

平成27年3月9日

猿払村教育委員会